

J E I B ジャパン

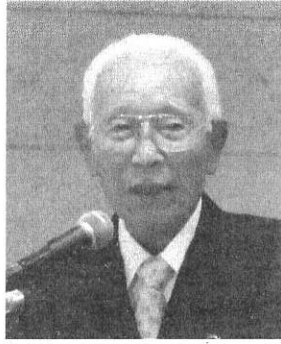
P & I 保険セミナー開催

最新マーケット情報を提供

J E I B ジャパンは11月8日、東京都千代田区の帝国ホテルでP & I 保険セミナーを開催した。船主への最新マーケット情報や経営効率化策の提供を目的に実施するもので、今回は同社が7月に提携したP & I 保険(船主責任保険)で世界トップバンクのプロローカーであるカンビアン・リッソを紹介するとともに、カンビアン・リッソのP & I 保険部門のアジア地域責任者を務めるウエイン・ゴドフレイ氏が、同社グループやP & I 保険市場の動向などについて解説した。当日は海運企業などから多数が参加した。

トッププロローカーのカンビアン・リッソ紹介

セミナー冒頭、J E I B ジャパンの親会社でロイス・イングリッド・インシュランス・プロローカーの佐野正作会長があいさつした。佐野氏は、同社との提携で日本市場への進出を果たしたカンビアン・リッソ社を紹介した。その後、今回のセミナーのプログラムでは保険ビジネスにとって重要なクレーム対応にポイントをおいたと説明した。



佐野会長



ゴドフレイ氏



小田社長

また、「われわれ保険プロローカーの仕事は顧客の皆さまに尽くすこと」と話した上で、昨今、旧ビッグモーター社による保険金不正請求事案や大手損保による保険料調整手帳をきっかけに保険業界を巻き起こした保険プロローカーをより利用しやすい制度に改善していくと話し、昨今、旧ビッグモーター社による



P & I クラブのクレーム担当者による討論

明。1946年にイタリア・シエーナで創業したマリンドルに特化した保険プロローカーで、世界170隻の船舶を扱っている。イタリヤ、ギリシャを中心に英国、ノルウェー、ドイツ、トルコなどで事業展開している他、近年は中国、シンガポール、韓国などアジア市場でも事業の拡大を図っている。

ゴドフレイ氏は、自身と彼の父親がともに、カンビアン・リッソ社と並ぶP & I 保険分野のトッププロローカーで、J E I B ジャパンとはすでに提携しているアサー・J・ギャラガー社で働いており、二人とも同社からカンビアン・リッソ社に移籍してきたことを明かした上で、「現在、カンビアン・リッソのP & I 保険の実績は大幅に伸びており、私たちは当社を世界最大のP & I 保険クラブとP & I 保険

損保ジャパン

南陽市と包括連携協定

福祉・健康・教育などで協力

損保ジャパンは11月8日、山形県南陽市と包括連携協定を締結した。南陽市役所で行われた協定締結式には、南陽市の白岩孝夫市長、同みらい戦略課の穀野純子課長、小野勝司課長補佐、損保ジャパン山形支店の近藤和幸支店長、井田勝康米沢支社長が出席した。協定は、両者が相互連携と協働による活動を推進し、市民福祉の向上と地域の活性化を図ることを目的としており、①福祉・健康に

包括連携協定締結式



左から、損保ジャパンの近藤山形支店長、南陽市の白岩市長

市民福祉の向上および地域の活性化に関する事項②SDGsに関する事項③その他

長は「損保ジャパンは、これまで市が主催する事業(防災訓練、SOMPOホールゲームフェスタin南陽)に協力をいただいていたが、このたびの協定締結により、双方がより緊密な連携・協力を図ること、これまでの取り組みを含めたさまざまな分野で、互いの資源やノウハウを活用しながら一層の取り組みを進め、市民福祉の向上および地域の活性化に貢献すること、地域の活性化に立ちたい。南陽市には同じSOMPOグループのエヌ・デーソフトウェア社がある。エヌ・デーソフトウェア社も連携を取りながら、南陽市の皆さまと一緒に地域課題の解決および持続可能な街づくりに取り組んでいく」と述べた。

より、さらなる連携強化を図ること、地域の皆さまの役に立ちたい。南陽市には同じSOMPOグループのエヌ・デーソフトウェア社がある。エヌ・デーソフトウェア社も連携を取りながら、南陽市の皆さまと一緒に地域課題の解決および持続可能な街づくりに取り組んでいく」と述べた。

ソルベンシー規制の国際動向

Insurance industry news section with QR code and contact information for Solvency II regulations.

クラブの相違が生じると思われる。その結果、主要な海運市場での競争が激化する可能性がある。25年更改状況およびさらなる統合の動きを注視する必要がある。④大型クラブは、プール以外に個別に付する再保険コスト削減を図り、リスク保有を増やす傾向にある。⑤D A L I の事故は、オーバーシーズルの状況に対する当初の懸念を背景に、国際グループ再保険の構造についてさらなる議論を引き起こし得る。といったトピックを挙げた。最後に、今後のP & I 保険ビジネスのポイントとして、早期契約更改や戦略的レビューについて紹介した。